



令和7年度介護支援専門員  
専門研修課程Ⅰ・更新研修（88H）  
オリエンテーション

**KA  
CM**

鹿児島県介護支援専門員協議会

# ダウンロード資料

R7年度 専門研修課程Ⅰ・更新研修(88Hのうち56H専門Ⅰ相当)受講手順		
期日	科目	受講手順
6月20日～7月16日	介護施設制度及び地域包括ケアシステム ⑧地域援助技術 ⑨おける倫理 ⑩の医療との連携及び多職種協働の実践 リハビリテーション及び福祉用具等の活用に際する理解 ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	6月20日から動画配信を開始します。 6/20～7/16の期間内に左記の6科目を視聴完了する。 ※「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」は科目の最初にあります。7/17の演習の講義に当たって、最後に視聴をお願いします。 ★ホームページ掲載「動画配信受講マニュアル」を参照 県協働推進ホームページ「法定研修講座」>動画配信受講マニュアル ※ 視聴が終わったら必ず「視聴完了」をクリックする。
7月17日(木) 演習・ズーム	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	「動画配信受講マニュアル」はこちらをクリック テキスト類・提出したケアプラン等を準備し、作成した提出事例様式をパソコンに開いてからズームに入室する。名前の表記は「個人名のフルネーム」 ★ホームページ掲載「ズーム受講マニュアル」を参照 県協働推進ホームページ「法定研修講座」>ズーム受講マニュアル 「ズーム受講マニュアル」はこちらをクリック
7月17日～7月23日 動画視聴	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント 事前学習 ①ケアマネジメント点検シート 動画視聴 ②脳血管疾患のある方のケアマネジメント 事前学習 ②ケアマネジメント点検シート	7/17～7/23の期間内に左記2科目を視聴完了する。 ①を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに入力しながら事前学習をおこない演習を持つ ②を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに入力しながら事前学習をおこない演習を持つ
7月24日(木) 演習・ズーム	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ②脳血管疾患のある方のケアマネジメント	①を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに入力しながら事前学習をおこない演習を持つ ②を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに入力しながら事前学習をおこない演習を持つ
7月24日～7月30日 動画視聴	③認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント 事前学習 ③ケアマネジメント点検シート 動画視聴 ④大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント 事前学習 ④ケアマネジメント点検シート	7/24～7/30の期間内に左記2科目を視聴完了する。 ③を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに入力しながら事前学習をおこない演習を持つ ④を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに入力しながら事前学習をおこない演習を持つ
7月31日(木) 演習・ズーム	③認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ④大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	テキスト類・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。
7月31日～8月6日 動画視聴	⑤心疾患のある方のケアマネジメント 事前学習 ⑤ケアマネジメント点検シート 動画視聴 ⑥脳腫瘍予防のケアマネジメント 事前学習 ⑥ケアマネジメント点検シート	7/31～8/6の期間内に左記2科目を視聴完了する。 ⑤を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに入力しながら事前学習をおこない演習を持つ ⑥を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに入力しながら事前学習をおこない演習を持つ
8月7日(木) 演習・ズーム	⑤心疾患のある方のケアマネジメント ⑥脳腫瘍予防のケアマネジメント	テキスト類・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。
8月7日～8月20日	⑦要介護1における介護サービスの手	8/7～8/20の期間内に左記2科目を視聴完了する。

## ①受講手順

### 事例を発表

目的：ケアマネジメントプロセスを共に再確認する

発表の手順・時間【20分】 ※振り返りシートを活用して発表してください

1. 事例概要・利用者の主訴(生活課題)など→○が困っている
2. 顕在化している課題→生活で困っている課題分析やニーズの合意など
3. 潜在化している課題→対人援助、2次共感から得られた課題やニーズの合意など
4. 生活ニーズに関する合意→○を生活を送るために○(資源)が必要など
5. 生活も目標に関する合意→居宅サービス計画書(2)～なりたいたいしたい
6. 選定したサービス及び選定理由→○サービス⇒△解決する為、×が必要

参加者へお願い  
聴く姿勢

SOLER(ソラー)の理論  
・Squarely:まっすぐ向き合う  
・Open:開いた姿勢で接する  
・lean:相手へ少し身体を傾ける  
・Eye:視線を合わせる  
・relaxed:リラックスして傾聴する  
笑顔 うなずき なるほど「受容」

※合意に至らなかったが介護支援専門員として提案した支援策も発表する

### 『潜在的ニーズ』全人的な視点(権利擁護)

マズローの欲求階級説 (ケアの本質)

その人のニーズに即しては対応しきれない可能性がある。社会的・業界的・倫理的・法的な観点から、本人の自己実現を促す必要があり、自己決定を支援する。

カリタス・オープンライフ(2001)デス(0)  
ある人がどれだけ「人間らしい生活」や「自分らしい生活」を送り、人生に「幸福」を感じているかという尺度

### 潜在的ニーズの一例

自己超越→(例)たとえ自分の身が減りようともやらなければならないことがある  
自己実現→(例)他者の為に(貢献)自分にやらなければならないことがある

欠乏欲求 → 成長欲求

承認→自分も認められたい  
所属と愛→自分の居場所・役割は！自分も誰かの尊い存在でありたい  
安心・安全→不安・焦り・怒り・抑うつなど軽減したい  
生理的→食・排泄・睡眠・運動など

ケアマネジメント『プロセス』振り返りシート

①主訴(生活課題)

②顕在化している問題に対する合意

③潜在化している問題に対する合意

④選定したサービス及び選定理由

1. 選定したサービス → 2. 選定した理由

## ②「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」資料

利用者名	鹿児島 太郎 さん	性別	男	年齢	78 歳
主訴	<p>〔相談内容〕 令和4年12月に脳梗塞で入院。現在は服薬治療と機能訓練を行っている。病院からは、病状も安定しているためそろそろ退院に向けて準備を進めたいと意向がある。介護者である妻は退院後の在宅での介護を不安に思っており、相談に至る。</p> <p>〔本人・家族の意向〕 本人「脳梗塞でマヒが残ってしまい辛い生活です。怖くして残念です。入院した時はよくよくと悩んでいましたが今はハビリを頑張っています。少しでも良くなればと考えています。そろそろ退院と聞いています。妻に負担をかけることはわかっていますが自宅に帰りたいです。今の状態では、トイレや風呂が困ると思っています。』</p>				

## ③「生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント」共通事例

状況	時に佛僧し習備員の仕事につく。30歳で結婚、2児(長男・長女)を育てる。教育熱心でPTA活動にも積極的に参加していた。60歳で定年退職。退職後は妻や友人たちと、旅行や飲み会など生活を楽しんでいた。地域の活動にも参加、民生委員も長年続けていた。最近の楽しみは家庭菜園と20歳の孫の成長。月に1回孫と家庭菜園をすることをとっても楽しみにしていた。	長男：52歳。福岡在住。入院退院時は付き添って手続き等してくれる。妻も側に就いており日常的な介護の協力は難しい。 長女：50歳。鹿児島市内に住んでいる。週に1回程度面会に来てくれる。子供が大学受験を控えている。
病歴	〔経過・病歴等〕 45歳の時に糖尿病・高血圧症を指摘される。服薬治療を続けていたが72歳で脳梗塞を発症する。幸い自立した後遺症もなく退院。その後服薬や運動など健康に気をつけて生活を続けていた。令和4年12月、夕食時に左手にしびれあり。救急車で受診、検査後脳梗塞再発と診断	74歳 変形性膝関節 52歳 福岡在住 50歳 鹿児島市在住

## ④ ケアマネジメント点検シート(7科目)

ケアマネジメント点検シート(基本ケア：生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント)			
「適切なケアマネジメント手法」実践ケアの項目		(1) ケアプラン作成時点の判断	(2) 現在(項目を現状値)の判断
基本方針	大項目	中項目	細項目
決定される支援内容	決定される支援内容	決定される支援内容	決定される支援内容

1-1-2	4	転倒・骨折のリスクや経路の確認							
1-1-2	5	緊急生活・即応の意向の確認							
1-1-2	6	一週間の生活リズムとその変化を把握すること							
1-1-2	7	食事及び栄養状態の確認							
1-1-2	8	水分摂取状況や便秘の実態							
1-1-2	9	認知機能の低下や状態の把握							
1-1-2	10	身体機能の低下や状態の把握							
1-1-2	11	口腔内及び嚥下機能低下の確認							
1-1-2	12	転倒・骨折に際しての負傷の防止やリスクの予防							
1-1-2	13	感染症の早期発見と治療							
1-1-2	14	緊急時の対応の把握							
1-1-2	15	本人の意思を尊重する							
1-1-2	16	日常生活に関する意思の尊重							
1-1-2	17	緊急時対応の必要性の確認							
1-1-2	18	緊急時対応体制の確認							

# ログイン画面1

https://www.jcma.or.jp

一般社団法人  
日本介護支援専門員協会  
JCMA Japan Care Manager Association

サイト内検索  
文字の大きさ 大 小

HOME お知らせ 協会について

会員専用 Myページ

- 《ログイン》
- 《新規入会申込》
- 《受講管理・動画配信システムの利用登録》

もこちらから

《会員専用 My ページへのログイン》  
《新規入会申込》  
《受講管理システムの利用登録》は  
こちらから

一般社団法人  
日本介護支援専門員協会  
JCMA Japan Care Manager Association

サイト内検索  
文字の大きさ 大 小

会員専用 Myページ

- 《ログイン》
- 《新規入会申込》
- 《受講管理・動画配信システムの利用登録》

もこちらから

HOME お知らせ 協会について

Myページ

HOME > Myページ  
Myページの閲覧にはログインが必要です。

ログイン アンケート

新規会員  
募集中!

ログイン

HOME > ログイン

会員番号をお持ちの方のログイン

会員番号(ログインID)

パスワード

ログイン状態を保存する ログイン

パスワードをお忘れですか？

日本介護支援専門員協会HPより「会員専用Myページ」へ移動し  
支給されたIDとパスワードを入力してログインします。



# ログイン画面2



会員専用Myページへログイン後、「研修受講中」欄から動画を視聴する研修（専門研修課程 I）を選択します。

# ログイン画面3

HOME お知らせ 協会について ログアウト

## 研修受講申込

HOME > Myページ > 研修受講申込

研修会名	日本協会法定研修テスト
研修内容	日本協会法定研修テスト
会場	東京都千代田区神田金子ビル
申込期間	令和06年2月26日～令和06年2月29日
日程	令和06年3月13日11:00～令和06年4月10日16:00
会員受講料(税込)	0円 (本体価格0円)
非会員受講料(税込)	0円 (本体価格0円)

申込 申込取消 受講票出力 **<研修動画配信システムはこちら>**

アンケート

会員専用 Myページ

操作に関するお問い合わせ

3訂/介護支援専門員 研修テキスト



<研修動画配信システムはこちら>をクリックすると、動画配信システムに移動します。

# 法定研修動画視聴



研修配信システム

試験太郎 ログアウト

配信内容

研修種類  
法定研修

課程  
02 専門研修課程 I

研修名での絞り込み  
研修名を入力してください 絞り込み

No.	専門研修課程 I		動画	視聴状況
	科目	科目名		
1	1	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	視聴	未視聴(0/0)
2	2	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	視聴	未視聴(0/0)
3	3	対人個別援助技術及び地域援助技術	視聴	未視聴(0/0)

研修種類で「法定研修」を選択し、「02専門研修課程 I」を選択します。

クリックして動画を視聴

動画が再生可能な状態な科目はボタンがアクティブになります。(赤くなる)  
 動画が登録されていない場合や、受講者として登録されていない、視聴期間切れなどの場合、ボタンが非アクティブな状態になります。(画像は非アクティブな状態)



# 動画視聴



## 動画視聴

◀ この動画の最初から再生する

↺ 10秒巻き戻す

### 1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

**本科目の習得目標**

- 介護保険上のサービス内容を説明できる（知識、技術、態度）
- 介護保険上のサービス内容のケアマネジメントを実施できる。（知識、技術、態度）
- 介護保険上のサービス内容を地域で指導できる（知識、技術、態度）

説明、実施のポイント = 指導ポイント

©Japan Care Manager Association 2



再生の途中で「この動画の最初から再生する」「10秒巻き戻す」ことが可能です。

戻る

**動画は早送り再生できません。**

一時停止はできますがブラウザを閉じたりすると冒頭からの再生になります。

1本20～40分程度に分割しております。（例：120分の講義は30分動画×4本）

トラブルを回避するためにも、視聴完了してから休憩等をするをお勧めします。

# 視聴完了登録



ログアウト

動画視聴

◀ この動画の最初から再生する

↺ 10秒巻き戻す

8-2 独自研修2

1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

動画視聴お疲れさまでした。

ボタンをクリックして視聴完了登録をしてください。

クリックして視聴完了を登録

視聴完了

再生時間 29秒 (配信期間 2024/03/27~2024/03/27)

戻る

動画が終了したら必ず視聴完了をクリックしてください。  
視聴完了をクリックして登録をしないと、完了となりません。



# 視聴完了



## 動画視聴

### 1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

動画の視聴が完了しました。

次の動画を視聴する

※必ずご視聴ください

視聴完了の登録をするとページが遷移します。  
このページへの遷移をもって視聴完了チェック画面に反映されます。  
複数の動画がある場合は続けて視聴できます。

# 視聴順番 (6/20～7/16)

No.	専門研修課程 I		動画	視聴状況
	科目	科目名		
1	02-1	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	<b>6</b>	未視聴(0/4)
2	02-2	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	<b>1</b>	未視聴(0/5)
3	02-3	対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）及び地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）	<b>2</b>	未視聴(0/5)
4	02-4	ケアマネジメントの実践における倫理	<b>3</b>	未視聴(0/6)
5	02-5	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践	<b>4</b>	未視聴(0/8)
6	02-6	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解	<b>5</b>	未視聴(0/4)

最後に視聴する！

ここからスタート！

# こんな時は・・・

問い合わせ先  
03-3518-0777  
(日本協会)

- ▶ 動画がスムーズに再生できない
- ▶ 完了ボタンが押せない
- ▶ 完了ボタンを押すと日本協会のホームページになる

➡以下を確認してみましょう

- ★ インターネット接続は有線LANですか？  
(無線LAN (Wi-Fi) より、有線LANのほうが安定します)
- ★ パソコンのOSのアップデートはお済みですか？  
(パソコンは最新の状態にしておきましょう)
- ★ 使用するWEBブラウザ (クローム、サファリ、エッジなど) は、「グーグルクローム」を推奨しています。





# 7/17に準備しておくもの (その2・今後の説明で使用)

## 基本ケア；生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント点検シート

利用者名	鹿兒島 太郎 さん	性別	男	年齢	78 歳
主 訴	<p>〔相談内容〕 令和4年12月に脳梗塞で入院。現在は服薬治療と機能訓練を行っている。病院からは、病状も安定しているためそろそろ退院に向けて準備を進めたいと意向がある。介護者である妻は退院後の在宅での介護を不安に思っており、相談に至る。</p> <p>〔本人・家族の意向〕 本人「脳梗塞でマヒが残ってしまい車いすの生活です。悔しくて残念です。入院した時はくよくよ悩んでいましたが今はリハビリを頑張っています。少しでも良くなればと考えています。そろそろ退院と聞いています。妻に負担をかけることはわかっていますが自宅に帰りたいです。今の状態では、トイレやふろが困ると思っています。」 妻「自宅で介護をしたいと思っています。しかし、介護は初めてです、自分も腰や膝が痛い十分な世話ができるか心配でなりません。特に病気の再発が心配です。」</p>				
生活歴・生活状況 *これまでの生活と現在の状況	<p>〔生活歴〕 南さつま市の出身。両親、弟、喪たきりの祖母と5人暮らしだった。小さな時から祖母や弟の面倒をよく見ていた。優しい性格。高校卒業後は、県外に就職する(大手食品会社)。25歳の時に佛蘭し警備員の仕事につく。30歳で結婚、2児(長男・長女)を育てる。教育熱心でPTA活動にも積極的に参加していた。60歳で定年退職、退職後は妻や友人たちと、旅行や飲み会など生活を楽しんでいて。地域の活動にも参加、民生委員も長年続いていた。最近の楽しみは家庭菜園と20歳の孫の成長。月に1回孫と家庭</p>		<p>〔家族状況〕 妻と2人暮らし 妻：74歳、軽度難聴あり。以前から両膝に痛みがあり膝関節症で整形外科に通院している。買い物等外出は、杖を活用している。 長男：52歳。福岡在住。入退院時は付き添って手続き等してくれる。妻も職に就いており日常的な介護の協力は難しい。 長女：50歳。鹿児島市内に住んでいる。週に1回程度面会に来てくれる。子供が大学受験を控えている。</p>		

## 生活の継続及び家族等を支える 基本的なケアマネジメント共通事例

日常生活自立度	障がい高齢者の日常生活自立度	A 2	認知症高齢者の日常生活自立度	自立
認定情報	要介護 3			

「適切なケアマネジメント手法」基本ケアの項目				(1) ケアプラン作成時点の判断			(2) 現在(項目を見た後)の判断		
基本方針	大項目	中項目	想定される支援内容	① 情報収集			④ 現時点で支援の必要性		
				② 支援の必要性の判断	③ 支援内容の見直し	⑤ 追加または縮小すべき支援内容			
I 尊厳を重視した意思決定の支援	I-1 現在の全体的把握と生活上の将来予測、備え	I-1-1 疾病や心身状況の把握	1 疾患管理の理解の支援 2 併存疾患の把握の支援 3 口腔内の異常の早期発見と歯科受診機会の確保 4 転倒・骨折のリスクや経緯の確認	○：情報収集を行った ×：情報収集を行っていない	○：支援が必要だと判断した ⇒ 【該当④へ】 ×：支援は不要だと判断した ⇒ 【該当④へ】 ▲：検討しなかった ⇒ 【該当④へ】	○：ケアプランへの支援の位置づけ ○：ケアプランに支援を位置付けた ×：ケアプランに支援を位置付けなかった ▲：検討しなかった	○：支援が必要である ⇒ 【該当④へ】 ×：支援は不要である ⇒ 【該当④へ】 1：支援内容は当初のままで良いと考えた ⇒ 【該当④へ】 2：支援内容を見直す(追加あるいは縮小する)必要があると考えた ⇒ 【該当④へ】	⑥ 追加または縮小すべき支援内容 1：追加が必要と思われる具体的な支援内容(自由記述) 2：縮小が必要と思われる具体的な支援内容(自由記述)	
				①	②	③	④	⑤	⑥
	I-1-2 現在の生活の全体的把握	I-1-2 現在の生活の全体的把握	5 暮らし生活・暮らしの意向の把握 6 一週間の生活リズムとその変化を把握することの支援 7 食事及び栄養の状況の確認						
	I-1-2 現在の生活の全体的把握	I-1-2 現在の生活の全体的把握	8 水分摂取状況の把握の支援 9 コミュニケーション状況の把握の支援 10 看察や地域での活動と参加の状況及びその環境の把握の支援						
	I-1-3 自損する生活を踏まえたリスクの予測	I-1-3 自損する生活を踏まえたリスクの予測	11 転倒などから起こる負荷の掛かるリスクの予測						
	I-1-4 緊急時の対応のための備え	I-1-4 緊急時の対応のための備え	13 感染症の早期発見と治療 14 緊急時の対応						
	I-2 意思決定過程の支援	I-2-1 本人の意思を捉える支援 I-2-2 意思の表明の支援と尊重	15 本人の意思を捉えるためのエピソード等の把握 16 日常生活における意向の尊重 17 意思決定支援の必要性の理解						
		I-2-3 意思決定支援体制	18 意思決定支援体制の整備						

# 7/17ズーム入室する前に・・・

- ① 提出した事例（様式1・様式2が必要様式1～様式3つながっているためそのままよい）のエクセルを開く
- ② 開いたエクセル（様式1～様式3）を開いたまま、ズームを立ち上げ入室する

提出事例について  
事例概要（様式1）に空欄が目立ちます。  
様式の記載箇所はすべて必須事項です。  
空欄は記入漏れと判断します。

特に・・・  
認定情報等のところ  
該当がないときは「なし」  
情報がなければ「不明」  
など記載してください。  
また  
「○」「有」などと記載ではなく、  
「要介護2」「後期高齢」など情報を記載

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1										様式1	
2	■ 事例概要 基本情報に関する項目 (No.1~9)							受講者氏名			
3	利用者氏名				性別	生年月日 (年齢)		年 月 日 ( )			
5	主訴	相談内容									
6											
7		本人・家族の意向									
8											
9	生活歴 生活状況	現在の生活状況・生活歴					家族の状況				
10		【現在の状況】									
11											
12		*これまでの生活と現在の状況					【生活歴*これまでの生活】				
13											
14											
15											
16											
17											
18	病歴	経過・病歴等					主治医・服薬等				
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											

# ズーム操作方法・留意事項はマニュアルを参照

## 動画配信システム



鹿児島県介護支援専門員協議会ホームページ▶法定研修関連▶[動画配信受講マニュアル](#)

## ズーム

鹿児島県介護支援専門員協議会ホームページ▶法定研修関連▶[ズーム受講マニュアル](#)

## ホームページ

<https://kaken-cm.org/>



## ズーム入室

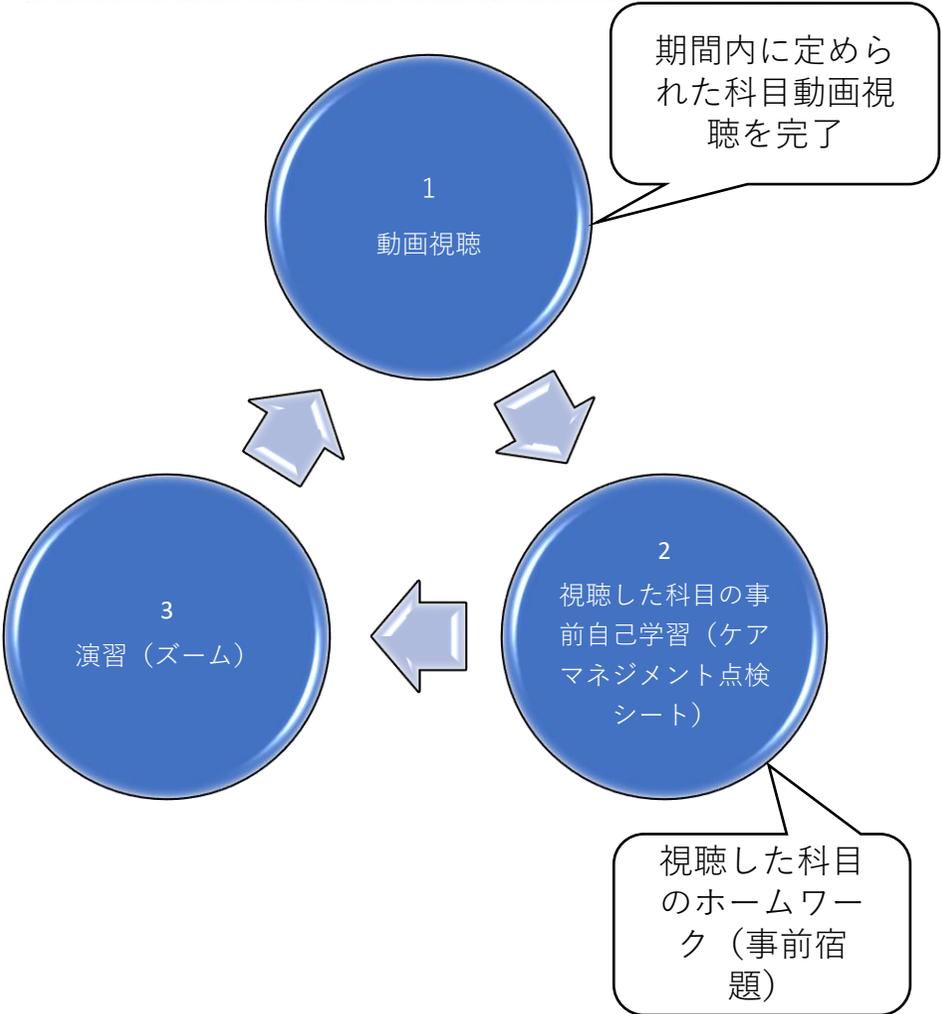
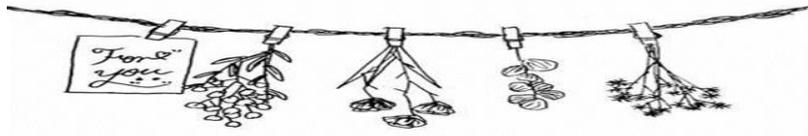
- ズームID・パスコードは本日と同じ
- 名前の表記はフルネーム「介護太郎」
- 音声はミュートで待機
- 8：45までには入室  
8：55までには着席

# 入室してから研修開始までに確認してほしいこと

- スピーカーとマイクのテスト
- ビデオカメラの確認  
画面中央に顔が入っているか  
逆光などで画面が暗くなっていないか等



# 7/17以降受講手順



## R7年度 専門研修課程Ⅰ・更新研修 (88Hのうち56H専門Ⅰ相当) 受講手順

期日	科目	受講手順	
6月20日～7月16日 動画視聴	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	<b>6月20日から講義動画を配信します。</b> 6/20～7/16の期間内に左記の6科目を視聴完了する。 ※「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」は科目の最初にあります。7/17の演習の講義になるため、最後に視聴をする。  ★ホームページ掲載「動画配信受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ→法定研修関連→動画配信受講マニュアル ※ 視聴が終わったら必ず「視聴完了」をクリックする。  <a href="#">「動画配信受講マニュアル」はこちらをクリック</a>	
	対人個別援助技術及び地域援助技術		
	ケアマネジメントの実践における倫理		
	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践		
	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解		
	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定		
7月17日(木) 演習・ズーム	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	テキスト類・提出したケアプラン等を準備し、作成した提出事例様式をパソコンに開いてからズームに入室する。名前の表記は「個人名のフルネーム」 ★ホームページ掲載「ズーム受講マニュアル」を参照 県協議会ホームページ→法定研修関連→ズーム受講マニュアル <a href="#">「ズーム受講マニュアル」はこちらをクリック</a>	
7月17日～7月23日 動画視聴	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	<b>7/17～7/23の期間内に左記2科目を視聴完了する。</b> ①を視聴完了後、ホームページよりダウンロードした共通事例を読み込みケアマネジメント点検シートを使って事例の点検をする。	
	事前学習		①ケアマネジメント点検シート
	動画視聴		②脳血管疾患のある方のケアマネジメント
事前学習	②ケアマネジメント点検シート	②を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに記入をしながら事例の点検をする 左記2科目の動画視聴、ケアマネジメント点検シートを使って事前学習をおこない演習を待つ	
7月24日(木) 演習・ズーム	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	テキスト類・ダウンロードした共通事例・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。	
	②脳血管疾患のある方のケアマネジメント		
7月24日～7月30日 動画視聴	③認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	<b>7/24～7/30の期間内に左記2科目を視聴完了する。</b> ③を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに記入をしながら事例の点検をする。	
	事前学習		③ケアマネジメント点検シート
	動画視聴		④大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
事前学習	④ケアマネジメント点検シート	④を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに記入をしながら事例の点検をする 左記2科目の動画視聴、ケアマネジメント点検シートを使って事前学習をおこない演習を待つ	
7月31日(木) 演習・ズーム	③認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	テキスト類・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。	
	④大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント		
7月31日～8月6日 動画視聴	⑤心疾患のある方のケアマネジメント	<b>7/31～8/6の期間内に左記2科目を視聴完了する。</b> ⑤を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに記入をしながら事例の点検をする。	
	事前学習		⑤ケアマネジメント点検シート
	動画視聴		⑥誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント
事前学習	⑥ケアマネジメント点検シート	⑥を視聴完了後、テキスト事例を読み込みケアマネジメント点検シートに記入をしながら事例の点検をする 左記2科目の動画視聴、ケアマネジメント点検シートを使って事前学習をおこない演習を待つ	
8月7日(木) 演習・ズーム	⑤心疾患のある方のケアマネジメント	テキスト類・左記科目の自己学習したケアマネジメント点検シート・演習シートを準備しズームに入室する。	
	⑥誤嚥性肺炎予防のケアマネジメント		
8月7日～8月20日	⑦看取り等における看護サービスの活	<b>8/7～8/20の期間内に左記2科目を視聴完了する。</b>	

# 安定したズーム演習を行うために

- 無線LAN（WiFi等）でも受講可能ですが、できるだけ有線LANでの受講をお勧めします。
- パソコンやズームアプリの更新は必ず済ませ、最新の状態にしてください。
- デバイスは原則パソコンでの受講をお願いしていますが、急な機材トラブルや通信環境の不具合等により復旧に時間がかかる場合などに限り、スマートフォンやiPadでの受講を認める場合があります。  
トラブル時の一時的な対策として、スマートフォンやiPadにズームアプリをダウンロードしておくことをお勧めします。

# 伝達事項

## ○ 専門研修Ⅰと更新研修88Hの同時開催

介護支援専門員証有効満了日：令和7年12月1日～令和8年11月30日の方  
▶ 「更新研修88H」 ▶ 更新研修32H専門Ⅱ相当も申込・受講 ▶ 更新手続き

## ○ 一般教育訓練制度を利用される方は、早めに事務局に申し出てください

# 最後に・・・お願い

○受講管理システムに登録をしてあるメールアドレスにメール配信をします。

時々メールの確認をしてください。

○問い合わせの電話をするときは、最初に事業所名と名前をお伝えください

○機材や通信状態のトラブル、急な体調不良等も十分想定されますので、動画視聴や課題などは、なるべく早めにお済ませください

○体調はしっかりと自己管理しましょう。